

ラグビーワールドカップ2019開催都市の決定について

ラグビーワールドカップ2019開催都市の一つとして「横浜市・神奈川県」が決定されましたので、大会概要及び今後の取組について報告します。

1 経緯

横浜市・神奈川県は、ラグビーワールドカップ2019の共同開催に向け、平成26年12月15日付で、公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会に対し開催希望申請書を提出しました。

その結果、平成27年3月2日に開催されたRWCL（ラグビーワールドカップリミテッド（※））の理事会において、「横浜市・神奈川県」が開催都市の一つに決定しました。

※RWCL：ラグビーワールドカップの主催者であるワールドラグビーから大会の運営を委託されている団体。

2 ラグビーワールドカップ2019の概要

- (1) 主 催 ワールドラグビー
- (2) 開催時期 2019（平成31）年9月から10月まで（約7週間）
- (3) 開催都市及び試合会場（12か所）

開催都市	試合会場
札幌市	札幌ドーム
岩手県・釜石市	釜石鵜住居復興スタジアム
埼玉県・熊谷市	熊谷ラグビー場
東京都	新国立競技場
横浜市・神奈川県	横浜国際総合競技場（日産スタジアム）
静岡県	小笠山総合運動公園エコパスタジアム
愛知県・豊田市	豊田スタジアム
大阪府・東大阪市	花園ラグビー場
神戸市	御崎公園球技場
福岡市	東平尾公園博多の森球技場
熊本県・熊本市	熊本県民総合運動公園陸上競技場
大分県	大分スポーツ公園総合競技場

(4) 参加チーム 20チーム

(5) 試合形式 予選 40試合※

決勝トーナメント 8試合 計 48試合

※20チームを4プール（グループ）に分け、プール内総当たり戦を行い、各プール上位2チームが決勝トーナメントへ進出

3 今後の取組

ラグビーワールドカップ 2019 が横浜市・神奈川県で開催されることは、本市及び県内のラグビー競技の普及・振興に寄与することはもとより、大会期間中に国内外から多くの観客が訪れることによる経済の活性化や大会の様子がテレビ中継等で全世界に発信されることで、シティセールスの絶好の機会になると考えています。

今後は神奈川県と十分に連携・協力をしながら、横浜国際総合競技場でのラグビーワールドカップ 2019 の成功に向けて、準備を進めていきます。

また、開催事業費等の必要経費については、神奈川県と分担するとともに、開催都市組織委員会設置やラグビーワールドカップ 2019 組織委員会への職員派遣など、人的対応についても、神奈川県と連携・協力をしながら進めていきます。

【参考1】横浜国際総合競技場の概要

- (1) 竣工 1998（平成10）年
- (2) 観客席数 72,327席
- (3) フィールド 天然芝（107m×72m）

【参考2】ラグビーワールドカップ 2019 の今後のスケジュール（予定）

2015年9月～10月	RWC 2015 イングランド大会
2016年春以降	チームキャンプ地選定プロセス発表
2016年後半	RWC 2019 組合せ抽選会
2017年～2018年	RWC 2019 試合日程発表 チケット概要発表・販売開始 ボランティア概要発表・募集開始
2018年	開幕1年前イベント
2019年9月～10月	RWC 2019 本大会